

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 か ら の 限	共 テ ス ト 通	選 考 方 法			2025年度入試日程			備 考			2024年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	書 類 ・ 学 科 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ 【 <u>共テ</u> 】 ( <u>教科</u> ・ <u>科目</u> ) ・ <u>そ 他</u>			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 ( <u>【<u>共テ</u>】</u> 合格基準点等)、新設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率					
筑波大学 ★教育推進部入試課 Tel.(029)853-6007 〒305-8577 茨城県 つくば市天王台1-1 -1	人文・文化	<一般推薦> 人文	120	15	全	現役	△	次のいずれか。(1)4.3以上 または本学の個別学力検査 等に合格できる程度以上の 学力を有する者、(2)希望す る主専攻分野(哲学、史学、 考古学・民俗学、言語学) に関連する教科・科目にお いて優れた能力を持つ者、 (3)高校において、国際的な 課題をテーマとする探究的 な学習や、国際交流に関す る活動に取り組み、コミュ ニケーション能力、問題解 決力等の国際的な素養を身 に付けた者等	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文・面 接(個別)	11.1 ～ 11.8 (2日)	11.28 11.29 (2日)	12.11	(注)推薦条件(2)の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活 動報告書を添付すること (注)小論文・面接におけ る「採点・評価基準等」 は要項確認	67	21	3.2					
		比較文化	80	16			△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)比較文化主 専攻に関わる分野において、 特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文((1) 日本語、(2)英文)・面 接(グループディスカ ッション)				44	20	2.2						
		日本語・日本文化	40	14			△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)旺盛な知的 好奇心や日本語・日本文化 を学ぶにふさわしい明確な 問題意識を持ち、専攻に関 わる分野において特に優れ た能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文・面 接(個別)				25	15	1.7						
	社会・国際	社会	80	16		△	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)社会科学 (社会学、法学、政治学、 経済学)に関連する分野に ついて、明確な問題意識と 優れた能力を有する者		(1)(2) 1 (3) 1				書類審査・小論文・面 接(個別－口頭試問含 む)	59	16	3.7					
		国際総合	80	20		△	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)国際的に活 躍できる資質を有する者で、 外国語または理数系に優れ た能力を持つ者		(1)(2) 2 (3) 1				書類審査・小論文・面 接(個別－日本語・英 語による)	62	21	3.0					

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法			2025年度入試日程			備 考			2024年度入試結果			
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ 其 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	共 テ ス ト		書 類 ・ 学 科 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ 【 <u>共テ</u> 】 (教科 ・ 科目) ・ 其 他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 ( <u>【<u>共テ</u>】</u> 合格基準点等)、新設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率					
筑 波 大 学 (続)	人間	<一般推薦> 教育	35	7	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)教育または 人間のこころと行動につい ての問題意識を明確に持ち、 それに関連する自主研究や 部活動、社会活動等におい て優れた実績を有する者	(1)(2) 1 (3) 1	×	書類審査・小論文(出 典は英文)・面接(個 別)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと  (注)各学類の推薦条件③ は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活 動報告書を添付すること	45	7	6.4					
		心理	50	12					(1)(2) 1 (3) 1							6-7	1次＝書類審査・小論文 (出典は英文)・面接(個 別) 2次＝共通テスト	11.1 ～ 11.8	<1次> 11.28 11.29 (2日) <2次> －	12.11	54	14	3.9
		障害科学	35	11					(1)(2) 2 (3) 1								×				書類審査・小論文(出 典は英文)・面接(個 別)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)
	生命環境	生物	80	22				(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文(英 語力の評価含む)・面 接(個別)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	59		20		3.0					
		生物資源	120	27				(1)(2) 2 (3) 1						書類審査・小論文(英 語力の評価含む)・面 接(個別)		11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	76	27	2.8		
		地球	50	10				(1)(2) 2 (3) 1											書類審査・小論文(英 語力の評価含む)・面 接(個別)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	22

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	共 テ ス ト	選 考 方 法			2025年度入試日程			備 考			2024年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上[注]の前提条件に該 当する内容は省略			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 ( <u>共通</u> 合格基準点等)、新設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率					
筑 波 大 学 (続)	理工	<一般推薦> 数学	40	8	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数学におい て特に優れた能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1	×	書類審査・小論文(数 学)・面接(個別)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件③ は要項確認。その根拠とし て、本人の作成による活 動報告書を添付すること (注)小論文・面接におけ る「採点・評価基準等」 は要項確認	24	9	2.7				
		物理	60	14				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・理い ずれかにおいて、特に優れた 能力を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(物 理)・面接(個別)					34	15	2.3				
		化学	50	12				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)化学におい て、特に優れた能力を持つ 者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(化 学)・面接(個別)					42	13	3.2				
		応用理工	120	16				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数または理 の能力が抜群で、かつ、希 望する主専攻分野に対して 旺盛な好奇心を持つ者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(数 ・英を中心に評価)・ 面接(個別－自然現象 などについての説明や 議論含む)					33	16	2.1				
		工学システム	138	22				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・理の能 力が卓越しており、論理的 な思考力とその表現力に優 れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(数 ・理・英の基礎力に基 づく)・面接(個別)					73	21	3.5				
		社会工	120	12				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)数・英に優 れた能力を持ち、希望主専 攻分野に関連する問題につ いて強い関心を持ち、その 分野で一定の成果を挙げた 者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(現 代社会の課題や動きに 関連する設問)・面接 (個別－英語力も評価 する)					58	15	3.9				
	情報	情報科学 情報メディア創成	86 54	12 10	浪人			次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)論理的思 考力と表現力に優れ、豊かな 発想ができる者	(1)(2) 各2 (3) 各1		書類審査・小論文・面 接(個別－数学の口頭 試問含む)				38 31	10 8	3.8 3.9					
		知識情報・図書館	100	40				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ((1)の基準は4.0 以上)、(2)知識や情報に対 して明確な問題意識を持ち、 それらに関する自主研究や 部活動、社会活動において 優れた実績を有する者	－		書類審査・小論文・面 接(グループビブリ オバトル)				56	40	1.4					

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	共テ ス ト	選 考 方 法			2025年度入試日程			備 考			2024年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ 其 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略			書 類 ・ 学 科 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ 【 <u>共テ</u> 】 (教科 ・ 科目) ・ 其 他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 ( <u>共テ</u> ) (合格基準点等)、新設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率				
筑波大学 (続)	医	<一般推薦> 医	98	44	全	現役	△	次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)全教科がバ ランスよく優れている上に、 英および理数系特に数・理 (物・化・生のうち2科目) の能力が抜群で、医師とな る資質が十分と考えられる 者	(1)(2) 1～3 (注) (3) 1	×	書類審査・小論文(英 <読解力・作文力>・ 数・理<物・化・生か ら2科目>)・適性試験 (①筆記試験、②面接 <個別>)	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	(注)推薦条件(2)の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)各学類の推薦条件(3) は要項確認。その根拠と して、本人の作成による 活動報告書を添付すること (注)小論文・適性試験・ 面接における「採点・評 価基準等」は要項確認 (注)医学類の推薦人数→ 過去3年間の推薦入試・ 個別学力検査等の入学者 数の合計が2名の場合は2 名以内、3名以上の場合 は3名以内で、該当校に 通知。通知がない高校は 1名	254	44	5.8				
		看護	70	25				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)看護に関連 する分野について、明確な 問題意識と優れた能力を有 し、部活動、地域活動、社 会活動等(看護に関するも のである必要はない)にお いて、実績を有する者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(① 和文、②英文)・面接 (個別)				59	25	2.4					
		医療科学	37	10				次のいずれか。(1)(3)は人文 学類と同じ、(2)医療科学に 関連する分野について、明 確な問題意識と優れた能力 を有し、特に数・理(物・ 化・生のうち2科目)およ び英の能力に優れている者	(1)(2) 2 (3) 1		書類審査・小論文(① 英文、②和文)・面接 (個別)				46	12	3.8					
	体育専門	240	90	×				1つの運動種目に抜群の技 能を有し、かつ、本学群に おける十分な修学力を備え、 将来体育・スポーツ・健康 の分野で活躍が期待できる 者で、次のいずれか。(1)国 際大会等に日本を代表して 選抜された者、(2)全国的な 大会等で16位以内の成績を 修めた者、(3)前記と同等程 度の水準にあると認められ る者、(4)都道府県大会優勝 等、全国大会出場に相当す る成績を修めた者	4 (注)		書類審査・実技・小論 文(設問と論述・600 字)・面接(個別) (注)実技種目は要項確 認				(注)推薦条件を証明する 客観的資料を必ず添付の こと (注)実技・小論文・面接 における「採点・評価基 準等」は要項確認 (注)推薦人数→同一競技 種目は2名以内(男子種 目と女子種目は別種目扱 い)	156	91	1.7				

大 学 ★問合せ先等	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限 の 高 校 か ら の 通 通	共 テ ス ト	選 考 方 法 書類・学科・小論文 ・面接・ <u>共通</u> (教科 ・科目)・その他	2025年度入試日程			備 考 可否判定評価法、 <u>共通</u> (合格基準点等)、新設、 その他	2024年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ 他  ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略				出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表		志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率
筑 波 大 学 (続)	芸術専門	<一般推薦>	100	35	全	現役	△	次のいずれか。(1)人文学類 と同じ、(2)志望する本学群 の領域で優れた資質または 能力を持つ者	4	×	書類審査・実技（主専 攻ごとの実技内容は要 項確認）・面接（個別）	11.1 ～ 11.8	11.28 11.29 (2日)	12.11	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資 料（作品写真等）があれ ば適宜添付のこと (注)実技・面接における 「採点・評価基準等」は 要項確認	152	40	3.8
	生命環境	<専門・総合学科特別入試> 生物資源	120	若干	農業 工業 商業 水産 総合	現役	×	特になし (注)総合学科は専門に関す る教科・科目25単位以上の 修得者	－		書類審査・小論文・面 接				0	－	－	
	医	【2024年度参考資料】 <地域推薦枠> 医	98	18	全	1浪	△	次の全条件。(1)茨城県内の 高校出身者または保護者が 出願期間の最終日において 茨城県に3年以上居住する 者、(2)将来、茨城県の地域 医療に貢献する熱意と能力 を有し、卒業後に茨城県が 指定する医療機関等で指定 された期間従事できる者、 (3)4.3以上、または本学の 個別学力検査等に合格でき る程度以上の学力を有する 者、(4)全教科がバランスよ く優れている上に、英・数 ・理（物・化・生のうち2 科目）の能力が抜群で、医 師となる資質が十分と考え られる者、(5)茨城県が実施 する「令和6年度茨城県地 域医療医師修学資金貸与制 度」に応募する者（茨城県 保健福祉部に照会すること）	－		書類審査・小論文（英 ＜読解力・作文力＞・ 数・理＜物・化・生か ら2科目＞）・適性試験 (①筆記試験，②面接 ＜個別＞)	<要項確認>			(注)小論文→英・数・理の 総合的学力を測定すると ともに、論理的思考力、 表現力を評価する (注)面接→医学を志向す る動機、修学の継続力、 適性、感性、社会的適応 力など総合的な人間性 について評価する	78	18	4.3